

## 鳥獣害対策ってどうすればいいの？総合的な対策をしよう！

町内ではイノシシやサル、クマなどによる農作物被害が発生しており、お悩みの方も多いと思います。そこで、まずはどのように対策をすればいいのかをご説明します！  
以下の3段階の対策を**総合的対策**といい、被害対策の重要な基本となります！

<p><b>STEP 1 &lt;&lt; 周辺の環境を見直そう！ &gt;&gt;</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 集落内や畑の周囲に見通しの悪いヤブはありませんか？ ⇒動物の通り道・隠れ場所になっています。隠れ場所がない環境はケモノにとって大きなストレスになります！刈り払いなどで見通しを良くしましょう！</li> <li>• 畑に要らない野菜や生ゴミを放置していませんか？ ⇒集落がエサ場と認識されてケモノが通うようになります！しっかり片付けましょう！</li> </ul>
<p><b>STEP 2 &lt;&lt; 防護柵を設置しましょう！ &gt;&gt;</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 柵を設置して、畑や集落に来てもしエサは食べられないと学習させましょう！</li> <li>• 現在、町内で最も効果を発揮しているのが「電気柵」です！個人・集落ぐるみでの設置などを希望される方は農林課までご相談ください！（経費の1/2を助成する補助金や、集落で取り組む場合には多面的機能支払交付金制度などがあります）</li> <li>• 民家に近い場所で被害が発生するなど緊急性がある場合には、農林課所有の電気柵の貸出を行うこともあります</li> </ul>
<p><b>STEP 3 &lt;&lt; 被害を出している個体を捕獲します！ &gt;&gt;</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上記の対策を実施しても被害が継続する場合は駆除隊による有害捕獲を実施します。</li> <li>• 人里に出没する悪い個体を選択的に捕獲することも、被害軽減には効率的な方法です！</li> <li>• 捕獲だけでは被害は解決しません！まずは集落全体をケモノが近寄りやすい環境に変えていきましょう！ ※ 罠の設置には許可が必要です！錯誤捕獲が発生した場合、非常に危険です！無許可での罠設置・違法猟具使用は鳥獣保護管理法違反となり罰則が科せられます！</li> </ul>

3つのステップに分けてご説明しましたが、実際に対策を行う際には以下の点に注意して計画を立ててみましょう！

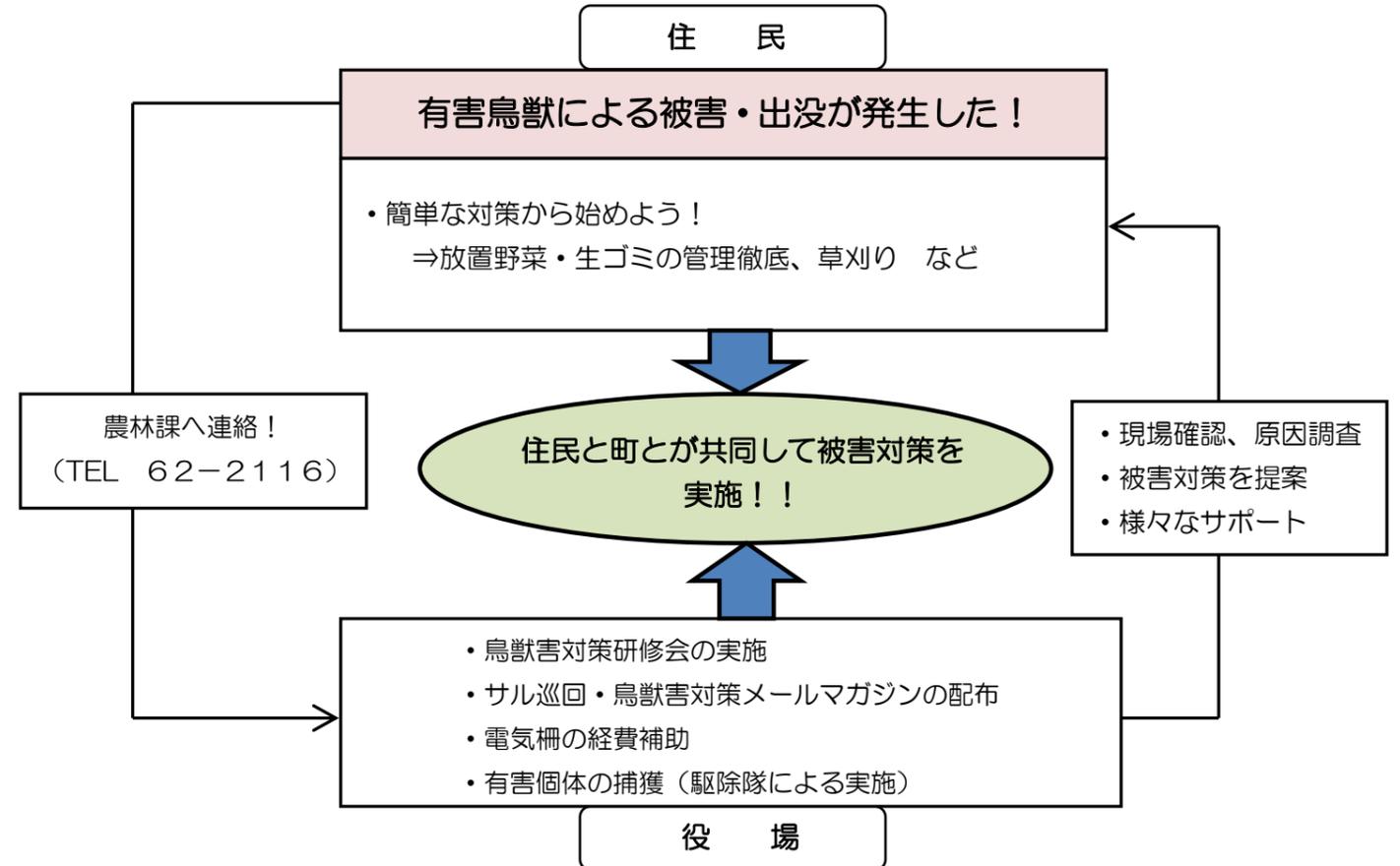
◎**一歩ずつ、簡単にできる対策から始めていきましょう！**

最初から大きな対策をしようとしても継続できなければ意味がありません。  
まずは個人で、無理なくできることから対策を始めていきましょう！

◎**集落ぐるみで対策をしたいときは集落内で話し合いをしましょう！**

集落の現状や課題点、将来どのような集落にしたいかを話し合いましょう。農林課では住民の方たちと一緒に、専門知識を交えて集落ぐるみで対策方法を考える**鳥獣害対策研修会**を開催します！興味のある方はいつでも農林課にご相談ください！

■**野生動物による被害が発生したら・・・**

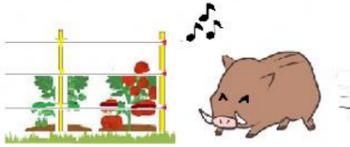
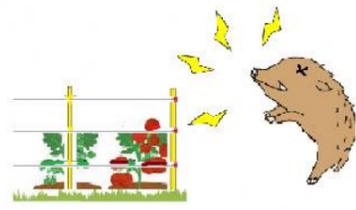
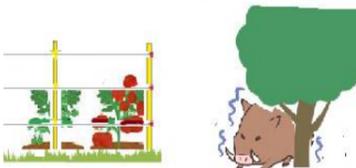


## 電気柵ってどんな柵？

### 電気柵とは・・・

・「動物に電気ショックを与え、侵入を防ぐ柵」のことです。  
 「電気柵に触れたときの痛み」と「電気柵に触れると危険と学習させる」二つの効果により動物の慣れを防ぎ長期的に農作物を守る効果があります。つまり電気柵＝心理的な柵ともいえます。

### 動物が電気柵に出会ったら・・・

<p>①イノシシが農作物を狙ってやってきます！</p>	<p>②電気柵に触れると…動物に電気ショックがきます！</p>	<p>③この柵に触れると痛い学習します！</p>
		

★この場面をわかりやすく私たちの生活に例えると・・・

これは私たちが一度は経験がしたことはある、「沸かしてあるお湯を触る場面」と考えてみてください。  
 触る直前は熱いか分からないので警戒しながら触ります。それが熱湯だった場合、「これは火傷する！」と危ないことがわかり、次は触るのを躊躇します。逆に生ぬるかった場合はどうでしょうか。大丈夫なことがわかると、「いい湯だ～」と次は躊躇なく触ります。

→このように動物も電気が流れている時に触った場合、「この線に触れると痛い！危ないぞ。」と学習し、電気が流れていない時に触った場合、「この線に触っても痛くない。危なくないぞ。」と学習してしまいます。

動物も人と同じように学習した通り、慣れてしまったとおりになってしまいます。

せっかく電気柵を設置したのなら、「入れない・・・」と学習させたいですね。

### 目指すはどんな動物にも負けない電気柵！

・「入れない・・・」と思わせる電気柵にするためには、電気柵の周囲の環境の管理と電気柵自体の管理がとても大切です。正しい設置方法については、次の図を参考にしてみてください。

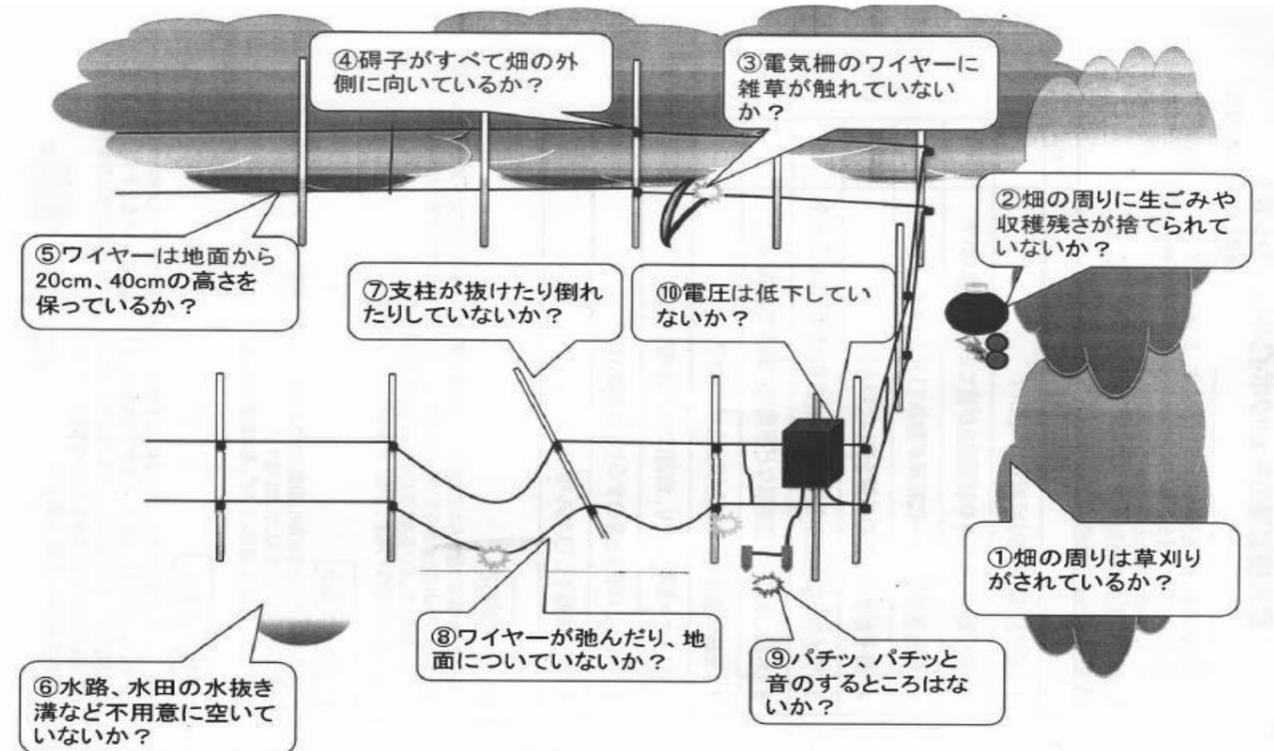


図 福島県農業総合センター資料より

★この図をわかりやすく私たちの生活に例えると・・・

電気柵は夏季の問題の一つである、「蚊との戦い」のようだと考えてみてください。電気柵は自分の家、動物が蚊、外周の環境は自分の家の庭に置き換えます。  
 蚊は睡眠時に来られると本当に厄介ですよ。蚊はスキさえあれば家への侵入を試み、網戸に隙間などがあれば侵入します。また、庭の管理が悪いと、蚊がどんどん増えてしまい、その増える環境をなくさない限り、蚊との戦いはなくなり、激しくなる一方です。蚊取り線香で数を減らしても、スキを狙う蚊は次々に来て、侵入してくるのです。

→このように電気柵も正しく設置をしないと次々に侵入され、周辺環境の整備をしないと農地を狙う動物が次々に増えてしまいます。電気柵の正しい設置と周辺環境の整備をしっかりと行ってこそ動物に負けない農地を作り上げることができます。

### 電気柵の設置方法が心配な時は農林課へご連絡ください

・私たちが体調管理をしっかりすることで、日々健康に過ごせますよね。電気柵も毎日の管理をしてこそ調子がよい状態を保てます。  
 電気柵と共に、健康な日々を過ごしましょう！

## サル対策ってどうすればいいの？

サルによる農作物被害が発生している集落も多いと思います。

今回は、どのように対策をすればいいかご説明します！

### 1. 基本的な生態

町内には約800頭・11群のサルが生息しています。サルはメスを中心とした社会的な群れを形成し、上位のメスが群れのまとめ役となり決まった行動範囲を周回します。

だいたい20年くらい生きるよ。  
けど冬の寒さで死ぬ仲間も多いん

汗がかけないから長距離走は苦手！  
隠れる場所があると嬉しいな

出産は2年ごとに1回で  
こどもを1頭産むよ！  
そんな爆発的に増えないよ。

野生で“ボスサル”は存在しないよ。  
群れはメスの方が偉いんだ。



ニホンザル (Macaca fusucata)

### 2. 被害の要因と対策方法

☆集落がサルにとって魅力的な場所になっていませんか？

見直すべき点	とるべき対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫しないクリ・カキなど</li> <li>・放置された作物の腐ったゴミ</li> </ul> <p>➡ 栄養豊富なエサ</p>	<p>まずはじめに 片付けましょう！</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈られない藪</li> </ul> <p>➡ 休み場・隠れ場 ⇒畑・集落への出入り口</p>	<p>できる範囲で 刈りましょう！</p>

☆サルを追い払う際は以下の点に注意しましょう！

#### ①ひとりで追い払いをしていませんか？

追い払いをする際は、複数人で追い払いましょう。何十匹もいる群れに一人で立ちむかうのはあまりにも無謀です。人を集めるのが難しいときは、集落で花火が鳴ったらその時いる人だけで音がした場所に集まってみるくらいのところから始めてみましょう。

#### ②追い払いにおける“花火の役割”を誤認していませんか？

「花火を打っても逃げない」、「またすぐに出てくる」などの声を多く聞きます。花火の爆音・光にサルは慣れます。しかし、自分より大きな人間が追いかけてくるのはサル

達にとって大きな恐怖・ストレスです。

花火を撃つときは、一歩でも山に近づいて（できれば山に入って）、サルを追いかけるながら、追い払いましょう。「花火があがる ⇒ 人が追いかけてくる」というところまで覚えさせて、花火は初めて効果を発揮します。

#### ③追い払う方向を意識していますか？

サルは自分たちが行きたい方向にしか移動しません。移動方向と逆向きに追い払うと群れが動かなくなってしまいます。移動方向に沿って群れを誘導しながら花火を撃って追い払いましょう。農林課では5月から11月の平日にリアルタイムでサル群れの位置情報をメールで配信しています。希望される方は下記連絡先までご連絡ください。



#### ☆なぜ捕獲だけでは解決しないの？

無計画な捕殺で上位のメスを殺してしまうと、群れの分裂を引き起こします。行動圏が分かると集落への襲来頻度が高くなり、かえって被害が増えてしまいます。分裂を避けるため、町ではオリを使い選択的な捕獲・個体数調整をおこなっています。

捕獲と並行して、刈り払いや電気柵設置・追い払いをしてサルが来たくない集落をつくっていくことがもっとも重要です。

### 3. 最後に...

捕獲や電気柵設置は目的ではなく手段です。「対策の成功」のカチは地域により異なるはずです。対策をする前に、対策をした先の夢・目標を集落全体で決めてみましょう！

そのうえでどんな知識が必要なのか、何をしたらいいかわからない、という方は、専門職員による集落対策研修会を開催しますので農林課までご連絡ください！

## クマが私の畑に来ちゃった！対策ってどうしたらいいの？！

クマによる農作物被害で困っている方もいるのではないのでしょうか。  
今回は、クマについてどのような対策があるのかご説明します！

### 1.クマについて知ろう！

【視覚】  
あまりよくない。

【嗅覚】  
非常に優れている。

【武器】  
鋭い爪と牙を持っている。

【聴覚】  
非常に優れている。

【体力】  
木登り・水泳は得意。

【食性】  
雑食性。蜂蜜は好物。

【性質】  
おとなしい。臆病。  
子連れの母熊は攻撃的。

【活動】  
冬季（12月～4月頃）は越冬。雪解けのころから活動する。繁殖は夏季。2月ごろに1～2頭出産。



### 2.クマ対策について！

①集落にクマを呼び寄せてしまっていないですか？クマを呼び寄せてしまう原因をご紹介します。

**コンポスト内の生ごみ**・・・コンポストを荒らされる事例が多くみられます。クマは人が食べるものも好きなので寄ってきてしまいます。生ごみの管理には十分気を付けてください。

**カキ・クリ・クワの木など**・・・収穫していないカキやクリなどの木はクマにとっては最高のエサとなってしまいます。収穫されていない木があればできる限り伐採しましょう。

**収穫後の農産物の放棄**・・・畑に収穫後の野菜を放置してしまうこともクマを呼び寄せてしまう原因です。収穫後の野菜の処理に気を付けてください。

**蜂の巣**・・・クマはハチミツが大好きです。家の周囲で蜂の巣を見かけたら早めにとってしまいましょう。

これらのものはクマを呼び寄せてしまう原因です。クマが来てしまったときなぜ来てしまったのか原因を考えて、再び呼び寄せてしまう前に原因をなくしましょう！

#### ★対策のポイント

**クマを呼び寄せている原因を知り、その原因を取り除く！**

②クマが隠れやすい場所、侵入しやすい場所はないですか？

藪や笹など見通しの悪いところはクマの隠れ場になってしまいます。人身被害を防ぐためにも、見通しの悪いところは刈り払いを行ない、見通しを良くしましょう。また、集落や畑に電気柵を設置し、侵入を防ぐ対策が一番効果的です！



#### ★対策のポイント

**刈り払いにより隠れ場をなくす！そして畑や集落周辺に電気柵を設置し侵入を防ぎましょう！**

③山へ入るときの注意点

★山へ入る際、クマの出没が多い場所では自分の存在をクマに知らせるためにもクマ鈴を必ずつけてください！また、鳥獣害対策メールマガジンでリアルタイムのクマの出没状況も配信しているのでその情報をチェックし、出没場所付近には近づかないようにしてください。

◎大切なことは・・・

**集落に寄せ付けない努力、最大限クマに遭遇しないようにする努力**です！

### 3. 最後におさらいクイズです！



★答えは次号で

Qクマの対策で正しいものには○、正しくないものには×で回答してみてください。

1. 畑に来たクマを捕獲してもらったからもう安心だ。放棄果樹を切る手間が省けた～
2. クマは人の食べ物は食べないから、生ごみはコンポストへ捨ててしまおう～
3. クマが畑のトウモロコシを食べてしまうから電気柵を張ってみよう～

# 掘り起こされた！イノシシ対策ってどうすればいいの？

町内全域でイノシシによる被害が多発しています。  
今回は、どのように対策をすればいいかご説明します！

## 1. 基本的な生態

町内では平成21年から分布が確認され、現在では町内全域での生息が確認されています。

2才で大人になって  
毎年子どもを約4頭産むよ。

昼行性だけど臆病だから夜に動くんだ。  
安心できる環境があれば昼も活動する

草の根っこが主食なんだ！  
でも山の食べ物だけだと、  
子どもが半分死んじゃうの…。

イノブタって友達もいるけど  
産仔数は僕たちと変わらないみたい。



イノシシ (*Sus scrofa*)

身体能力に自信あり！  
1m以上ジャンプできて、70kgの岩  
もひっくり返しちゃうぞ！

学習能力がとても高いよ！  
快適なエサ場とか痛い電気柵も  
一度覚えたら忘れないぞ！

## 2. なんで被害が起きるの？

☆ イノシシにとって快適な集落になっていませんか？ ☆

①収穫してない野菜や生ごみを放置していませんか？



イノシシは頭がいいので一度覚えたら何回でもやってきます。  
しっかり燃えるゴミなどに出してイノシシが来る用事をなくしましょう

②住宅・農地のまわりにヤブはありませんか？



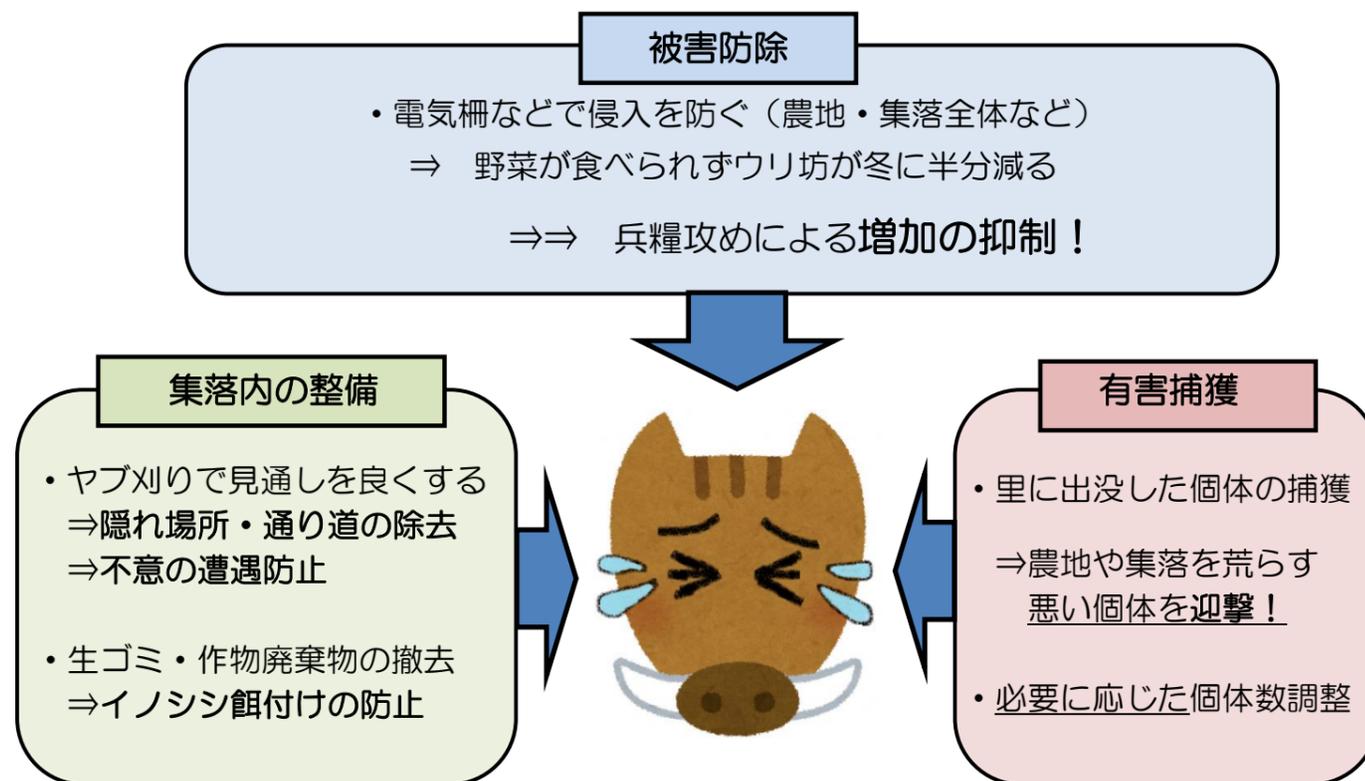
たいへん臆病なイノシシにとって、ヤブは最高の住み処・通り道です。  
昼間はヤブの中で寝て、夜にそこから出没している場合もあります。  
集落で話し合って、できるだけヤブをなくしていきましょう！

## ☆ 捕獲をすれば被害は減るの？ ☆

答えはNo。捕獲だけでイノシシ被害は解決しません。

捕獲を第一に優先して被害が減った事例はありません。全国の狩猟者人口の減少により、「イノシシの増加ペース」≧「捕獲圧」というのが現状です。

被害を減らすには、イノシシを集落に寄せ付けない・入らせない環境づくりが必要です！



## 3. 最後に…

電気柵や捕獲といった「対策」はあくまで「理想の集落」を実現するための手段です。一度、集落の皆さんで対策の先にある、集落全体の目標・夢を話し合ってみてください。

そのうえでどんな知識が必要なのか、何をしたらいいかわからない、という方は、専門職員による集落対策研修会を開催しますので農林課までご連絡ください！

## 4. その他

お盆のお墓参りの際には、お供え物はその場で必ずお持ち帰りいただくようお願いします。食べ物を放置すると、クマなどが寄ってくる可能性が十分にありますので、ご家族・ご親戚の方に周知していただくようお願いします。

## 早期発見！早期対応！迫るニホンジカの脅威！！

今まで町内ではニホンジカの目立った出没は見られていませんでしたが、近年出没が確認されるようになってきました。全国でもニホンジカが出没している地域では農作物などの被害が深刻です。前もって学んで対策していきましょう！

### ニホンジカについて知ろう！

#### 性格

警戒心が強いです。そのため捕獲も難しいです。

#### 食性

アセビなど一部のものを除けばほとんどすべての植物を食べます。

メス



オス



#### 繁殖

1歳から妊娠し、ほぼ毎年子供を産む脅威の繁殖力。

#### 活動

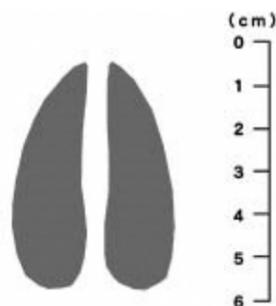
昼夜を問わず2～3時間採食し、2～4時間反芻を繰り返します。

#### 行動

ジャンプが得意で垂直に2m程度飛び上がれます。

### ニホンジカの痕跡発見で早期発見！

#### 【足跡】



☆イノシシやカモシカの足跡に似ています。

#### 【糞】



☆カモシカの糞に似ていますが、ため糞をしないため、辺り広く落します。

#### 【食べ跡】

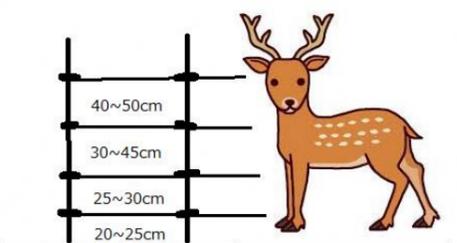


☆ニホンジカの食痕は「剪定ばさみのような切れ味」と覚えてください。

### 効果的な対策方法！

ニホンジカの侵入を防ぐ対策には【電気柵】【ネット柵】【金網柵】があります。設置場所、設置のしやすさ、維持管理の手間などから、適切な柵を選びましょう。

#### 【電気柵】



電気柵は「4段」張りが基本です。4段目をニホンジカの鼻の高さの120cm程度にします。電流が流れていない電気柵に触れて、電気柵を無害なものと認識してしまったり、電流が流れていても平気で侵入するようになるため、一日中電気は流しておいてください。

※ イノシシ・クマ兼用は段数を増やす必要あり

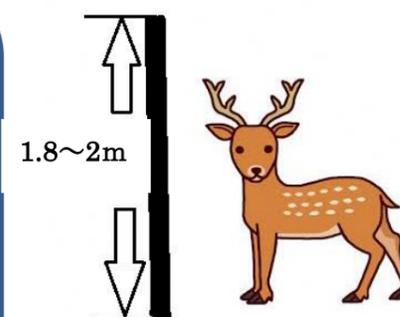
#### 【ネット柵】

柵の高さを1.8m～2mの高さにします。

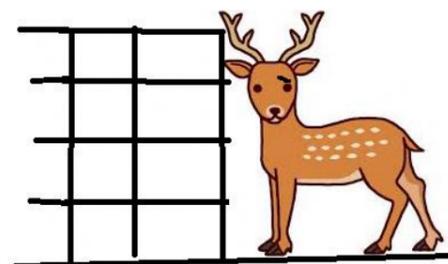
【素材】：ナイロン素材は軽くて設置しやすく、安価で、金属線入り素材はナイロン製より少し重いですが、噛み切られにくく丈夫です。

【目合い】：3cm程度のネット柵は動物の口が入りにくく噛み切られにくいですが、線径2mm以上のネット柵は丈夫で噛み切られにくいですが、目合いが細かく線径が太いほど重量は重くなり、設置の手間は増えます。

※ クマ・イノシシには破られる可能性あり



#### 【金属柵】



柵の高さは、1.8m～2mの高さにします。維持管理の手間が少なく頑丈なため、集落ごと囲う場合や、市町村の山際や山の中に長距離にわたって設置する場合によく用いられます。他の柵に比べ維持管理の手間はあまりかかりませんが、支柱や金属部の破損点検や、周辺の刈り払いなど、最低限の点検、維持管理が必要です。

※ イノシシには効果あるが、クマには効果なし

### 最後に…

徐々にニホンジカも生息域を拡大しています。ニホンジカの生態や柵も正しい方法で学び、正しく対策していきましょう。「この被害ももしかしたら…」と思ったら農林課へご連絡ください！

## どうぶつの大好物！なんでブナには豊凶があるの？

新聞などで、「ブナの豊凶」という言葉を目にしたことはありませんか？  
ブナの実（栗）は動物にとって大事な食べ物で、クマやサルなどの行動に深く関係しています。  
今回は、ブナの豊凶と動物たちの関係についてご紹介します！

### 1. ブナってこんな樹木！

櫛（ブナ）は写真1のような実を付ける樹木で、森林生態的には極相種に位置付けられています。  
建材に適した木材ではないため、スギ造林拡大のために全国で乱伐されましたが町内には広大な原生ブナ林が分布しています。



写真1 . ブナの果実

### 2. 豊凶のメカニズム

諸説ありますが、究極要因として「捕食者飽食（エスケープ）仮説」が提唱されていて、天敵である「ブナヒメシンクイ」の果実食害に対する時間を使った防御だと考えられています。あえて凶作期間を設けることで蛾の捕食を逃れ、確実に種子散布を行う戦略です。

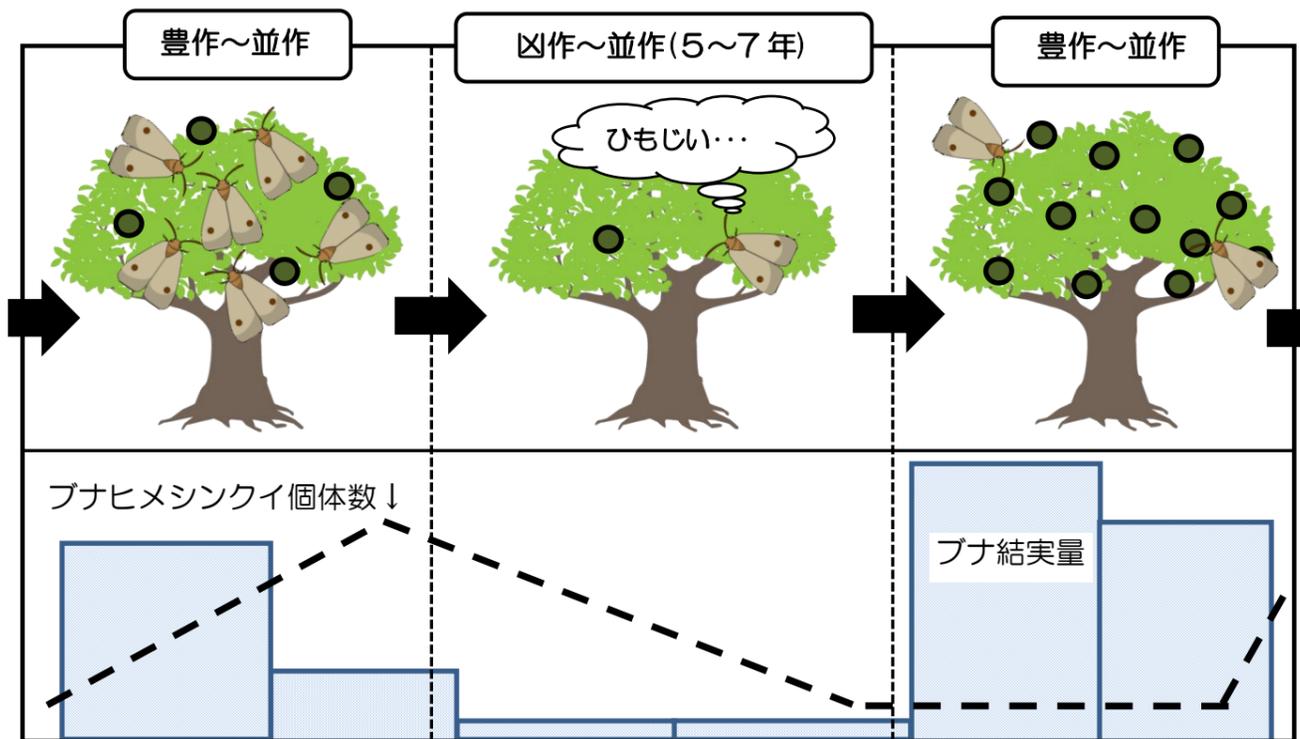


図. ブナヒメシンクイの個体数および、ブナ結実量の推移の例

### 3. 「ブナが凶作」＝「クマ大量出没」？

さまざまな要因がありますが、答えはイエスです。未だ研究が盛んな分野であり、はっきりとしたメカニズムは未解明ですが、山中の堅果類の豊凶がクマの行動パターンに変化をもたらしているのは確実です。

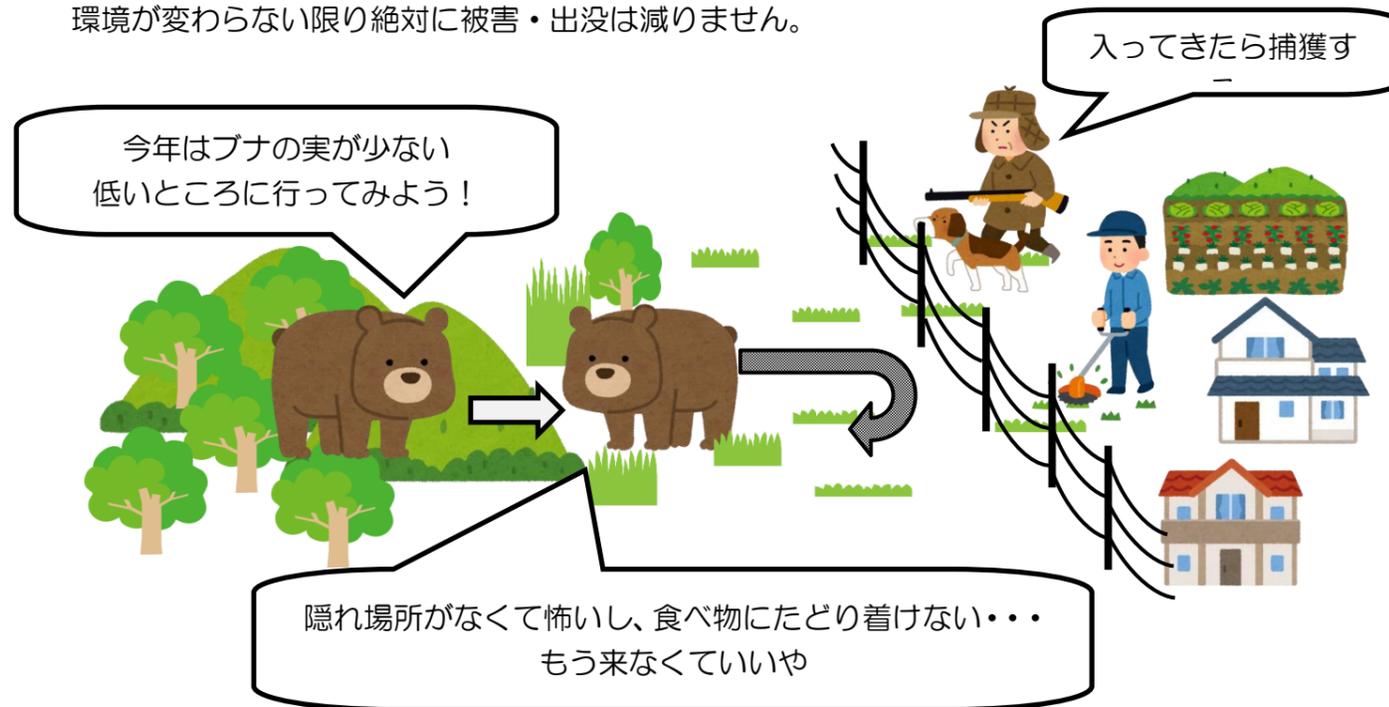
特に、大豊作年の翌年は大凶作年となることから、人里近くの低標高域まで食べ物を探しに来ると考えられています（夏前からエサ不足を予測？）。

しかし、豊凶をもたらすのは山中におけるクマの行動パターン変化であり、近年の人里への出没増加とは分けて考えるべきです。

### 4. 人里への出没をどう防ぐ？

豊凶によるクマの行動変化は、山のエサの量の変化に柔軟に対応するクマ本来の習性であり、決して異常なことではありません。近年の人間社会の変化によって人口が減り、藪となった里山に動物が潜み、すぐ近くにある集落の作物・果樹を動物たちはエサ場と認識するようになりました。

出没・被害を減らすために大事なことは、集落内の藪や生ゴミの除去・収穫されないクマヤブや柿を地域ぐるみで管理し、クマが出てきづらい環境をつくることです。こうした環境の整備は、大凶作年のクマ出没の防止・軽減につながります。クマを何頭殺しても、環境が変わらない限り絶対に被害・出没は減りません。



## 地域を鳥獣害から守るハンターになってみませんか！

全国各地で野生鳥獣被害が増加しているなか、有害捕獲などで野生動物を捕獲するニュースが連日報道されています。今回はそんな野生動物を捕獲する技術を持つ「ハンター」についてご説明します。

### ハンターとは？

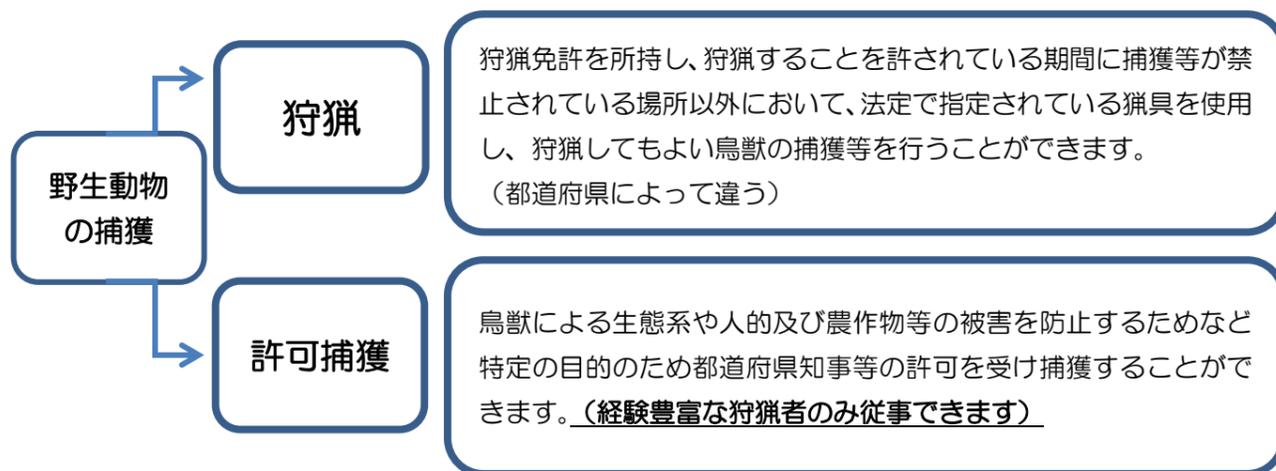
★猟銃等やわな等を所持し、狩猟をする人を一般的に「ハンター」と呼びます。

狩猟を行う目的は、主には、①趣味としての楽しみ ②自然資源の持続的利用 ③農林水産業被害の予防 ④日本の在来種の保護などがあり、狩猟できる期間内にだけ狩猟をおこなうことができます。

★福島県の狩猟期間は、11月15日から翌年の2月15日です。（イノシシとニホンジカは3月15日まで）

### 狩猟と許可捕獲の違い

「あれ、町役場では狩猟期間外にも捕獲していなかった？」と思った方もいるのではないのでしょうか。野生動物を捕獲するには「狩猟」と「許可捕獲」があり、それぞれ「目的とルール」および「従事できる人」が違います。



かかっちゃった



### 狩猟免許の種類

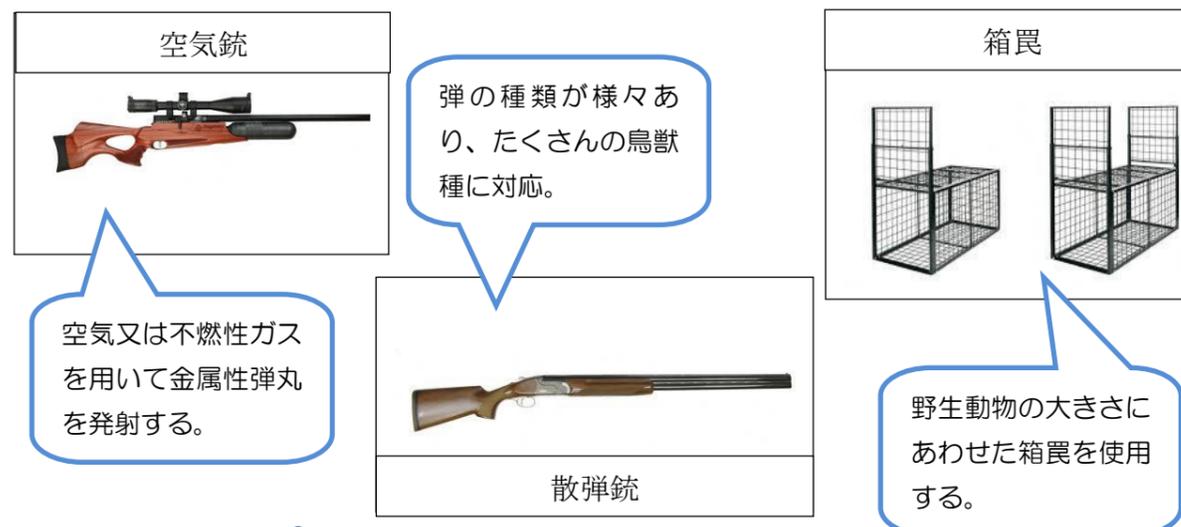
狩猟免許には、網猟免許・わな猟免許・第一種銃猟免許・第二種銃猟免許の4種類があります。

**網猟**: おそう網、はい網、つき網、なげ網

**わな猟**: くくいわな、はこわな、はこおとし、囲いわな

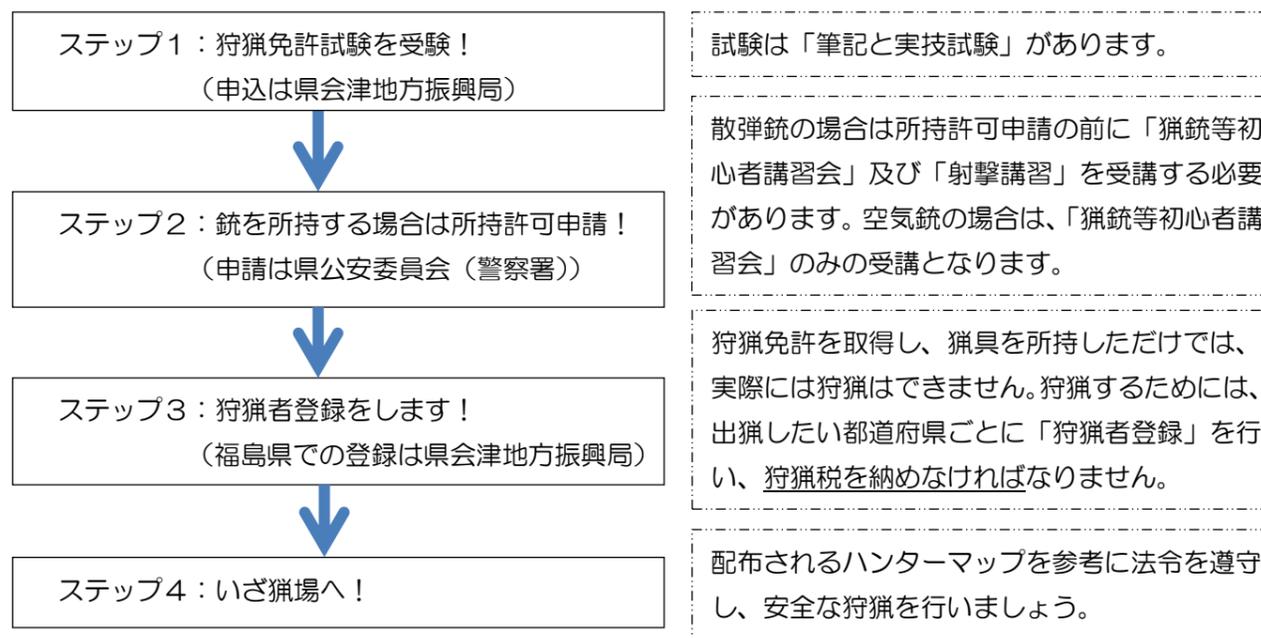
**第一種銃猟**: 装薬銃(ライフル銃・散弾銃)及び空気銃または圧縮ガス銃

**第二種銃猟**: 空気銃または圧縮ガス銃



### ハンターへの道のり

「自分で狩猟したいな…」「狩猟したいけどどうやったらできるのかな…」そんな方のためにここで簡単にハンターになるまでの流れをご説明します。



### 最後に…

全国ではハンターが減っていくなか、野生動物は反対に増えているのが現状です。狩猟ができるまでには道のりは長く、費用もかかりますが、新規狩猟者へ県からの補助もありますのでぜひ検討してみてください。ご不明な点などございましたら農林課にご連絡ください。

## 動物たちは冬をどうやって過ごしているの？

12月になりサルやクマなどの動きも落ち着く時期となりました。  
みなさんは冬のあいだ、動物たちが山でどのように暮らしているのかご存じでしょうか？  
今回は鳥獣害対策から少し離れて、彼らの生態をご紹介しますとおもいます！

### 1. ツキノグマ



みなさんご存じのとおり、クマは秋に脂肪を蓄え、12月半ばから4月頃まで冬眠します。  
12月中旬までは、注意して山に入りましょう。

クマは冬眠中に出産し、春に子グマを連れて活動を再開します。

冬眠中の出生率は、ブナ（ドングリ）の豊凶に大きく影響されます。豊作年の翌年は親子グマが増える傾向にあります。今年は並作年でしたので、来年は親子グマの出没に注意しましょう。

### 2. ニホンザル

サルたちは、自分たちの行動圏をぐるぐる移動し、樹の皮や冬芽などを食べながら身を寄せ合って寒さをしのいでいます。

樹皮を食べられると木は枯れてしまいますが、木が枯れた場所から他の新しい樹木が成長します（天然更新の促進）。

サルは、様々な樹齢・樹種が共存する豊かな森を育む役割を担っているのです。



### 3. イノシシ

雪の降る地域には生息しないとされていましたが、冬の町内でも生息が確認されています。

林内の雪が浅い場所を選択し、雪の下にあるドングリや根っこ、サワガニを食べながら冬を越すと考えられています。とうぜん、雪の下に埋まった野菜クズも彼らには貴重なごちそうです。しっかり片付けてウリ坊の越冬を防ぎましょう！

猟期である冬は、足跡が雪上にハッキリと残ります。狩猟免許などを取得して、イノシシ猟にチャレンジしてみるのもいいかもしれませんね！



### 4. このコラムを書いている人たち



普段はサルの追い払い・現場の巡回を主としていますが、冬の間はニホンザルの頭数調査を実施しています。専門職員により、群れの頭数・年齢・性別などを毎年調査し、群れごとの被害対策の方針を決めています。

現在、町内には11群れ・約800頭のサルが生息しており、人里に出没しているのは6群ほどです。

冬の間も追い払いはしていますので、一緒に花火でサルを追い払いましょう！

## 県内でも大混乱！大問題！海外からやってきた生物たち！

国内では海外から来た外来生物による生態系への被害が問題視され深刻化しています。県内では特にアライグマやアメリカミンクが問題視されており、町内でもいつ被害が発生するかわかりません。今後の町内での被害が深刻化する前に、今回はアライグマとアメリカミンクについてご説明します！

### 日本に来たアライグマ！

本来はカナダ南部から中央アメリカに生息しているアライグマですが、1970年代のテレビアニメをきっかけにペットとして日本に大量輸入されました。しかし、アライグマは実は凶暴なため飼うのが困難になり山に放したり、施設から逃げたりしたことで野生化してしまったと言われています。

県内では県が行った調査より「生息が断定できる」、「生息痕を確認」、「目撃情報のみ」の3項目に該当する市町村が計30あることがわかりました。特に南相馬市や富岡町、広野町、浪江町などの浜通りや中通りに多く生息していることがわかり、現在徐々に会津地方に進出してきています。

猪苗代町でもセンサーカメラで確認されており、被害報告はまだありませんが、今後注意が必要です。

### アライグマを見分けられるようになろう！

国外からやってきたアライグマですが、国内にもアライグマにとっても似ている野生動物が生息しているのをご存じですか？ 見分け方はとても簡単なので是非挑戦してみてください！

耳：ふちが白い  
眉間：黒い筋がある  
ひげ：白く目立つ



【アライグマ】

【タヌキ】

耳：耳のふちが黒い  
眉間：白い  
ひげ：黒く目立たない

尾の長さ：長い(25～30センチ程度)  
尾の模様：縞々模様がある



尾の長さ：短い(20センチ以下)  
尾の模様：縞々模様がない

### アライグマの被害はこんな被害・・・

アライグマは雑食性で果実、野菜、穀物、川の生物（サワガニやサンショウウオなど）、家畜の餌などなんでも食べます。農作物の食害では、ミカン、カキ、ブドウ、ナシなどの果物やスイートコーン、スイカ、ミニトマトなど甘みのある野菜がよく被害にあいます。



指が長く器用なため、ゴルフボールやテニスボールくらいの穴をあけて食べます。

木登りが得意で、柱に爪痕が残ることもあります。



### アメリカミンクが福島県内で大量繁殖！

「ミンク」といえば「毛皮」というイメージを持つ人もいるのではないのでしょうか。福島県内に生息しているのは「アメリカミンク」というイタチ科の仲間で、中通りの阿武隈川中流域を中心に合わせて12市町村に生息が確認されています。猪苗代町での被害報告は現時点ではありませんが、目撃された報告があります。

☆本来北アメリカ一帯に生息している哺乳類ですが、毛皮目的の養殖のため日本に持ち込まれました



☆ニホンイタチと似ていますが、顔に白いマスク模様があるのがニホンイタチの特徴です



☆水辺での生息を好み、水産業被害や農業被害、希少種の捕食（サンショウウオなど）などの生態系への被害も懸念されています

☆食肉目でとても攻撃的。咬傷の危険が高く、檻などに手を近づけたら危険です

### 最後に・・・

県内ではアライグマやアメリカミンクの被害が報告され、捕獲を既に実施している市町村もあります。今後、さまざまな野生動物による被害が増えてしまう前に、そしてイノシシやニホンザル、シカなどの被害で困っている方、また今後被害が出てしまうのではないかと不安をお持ちの方、ご要望に応じて行政区ごとに研修会や勉強会を行いますので、ぜひその際は、農林課へご連絡ください！

## どうしたらいいの？電気柵の設置・管理！

5月号では“電気柵のとはどんな柵なのか”をご紹介しました。もう既に電気柵デビューしている方、今年デビューの方やまだの方も電気柵について学んでみてください。今回は前回よりもう少しレベルアップした「効果をだす電気柵」についてご説明します！

### 電気柵の管理ポイント！～基本編～

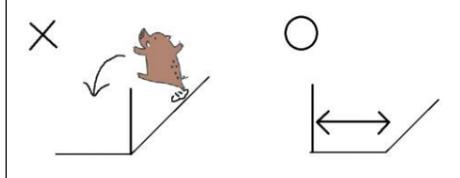
イノシシやニホンザルなどの電気柵を設置・管理するにあたり共通する基本的な項目がいくつかあります。いくつ正しくできているかチェックしてみましょう！

【電線】	<input type="checkbox"/> 電線が雑草や野菜などに触れていない	【ポール】	<input type="checkbox"/> ガイシは全部外側に向いている
	<input type="checkbox"/> 1段目の電線の高さが20cmに保たれている		<input type="checkbox"/> ポールは倒れていない
	<input type="checkbox"/> 電線が交差している箇所はない		<input type="checkbox"/> 木や鉄パイプを支柱代わりにしていない
	<input type="checkbox"/> 電線が地面についていない		
【環境】	<input type="checkbox"/> パチパチ音はしていない		
	<input type="checkbox"/> 電圧が3.5キロボルト以上ある		
	<input type="checkbox"/> 畑の周りに生ごみなど誘引物は捨てていない		
	<input type="checkbox"/> 畑の周りに動物の隠れ家となる場所（藪など）はない		

### イノシシ用電気柵～応用編～

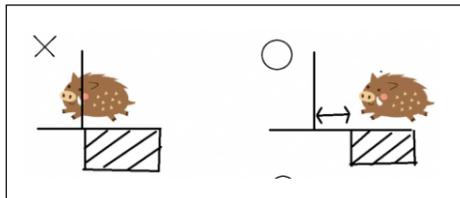
#### ①傾斜地に正しく設置していますか？

・傾斜地のそばに設置してしまうと、斜面の上から飛び越えて侵入してしまいます。斜面から2mほど離して設置しましょう。



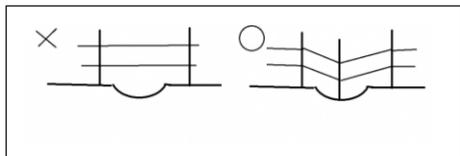
#### ②通電性のない地面の近くに設置していませんか？

・電気柵の電流は設置した場所の地面が、通電性のないコンクリートやアスファルトだとイノシシに電流は流れません。1mほど離して設置しましょう。



#### ③地面にくぼみはありませんか？

・イノシシは潜る性質があるためくぼみがあるとそこから侵入してきます。くぼみをなくすように設置しましょう。

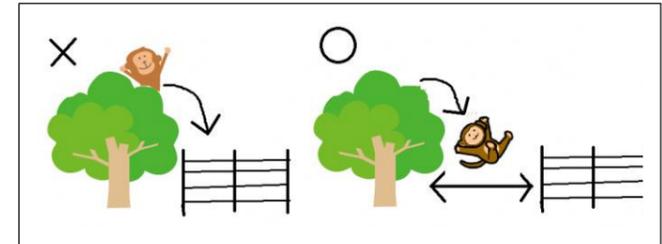


### ニホンザル用電気柵～応用編～

最近イノシシ・クマ用の電気柵以外にサルの電気柵を設置する方も増えてきました。しかし、設置したのに入られてしまって困っているという方もいるのではないのでしょうか。サルはイノシシと違い、高い場所に上ることができるため、設置したい場所の周辺環境も気を付けながら選定し設置していきましょう。

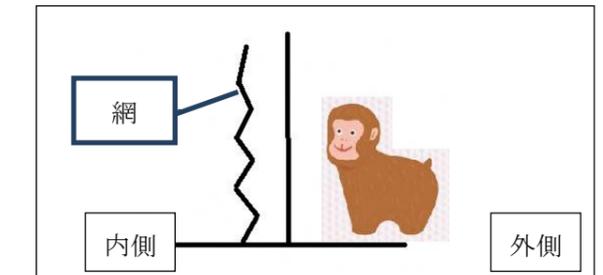
#### ①木や屋根などから離して設置していますか？

・サルは高いところからジャンプして電気柵内に侵入することがあります。高い木や障害物から5m以上離して設置しサルがジャンプして入れないようにしましょう。



#### ②下から侵入されていませんか？

・電気柵に慣れてしまった個体や小さい個体は電気柵の下から侵入してしまうことがあります。対策として電気柵の内側に、電気柵に触れない程度の距離に網などを設置すると効果が上がります。



### 最後に…

電気柵は正しい設置と管理をしてこそ、効果を発揮します。設置して安心せず継続的な管理をしてい  
きましょう。また、管理しなければいけない項目がいくつかあり、混乱してしまうこともあると思  
うの  
で「電気柵の管理ポイント～基本編～」のチェックリストもぜひ活用してみてください。  
電気柵また、鳥獣被害でお困りの方は農林課へご連絡ください！

## 「みんなで考えよう、集落ぐるみの対策！」

今号のテーマは「ヒトの集落」についてです。

畑が始まる春に向けて、“対策”というものを改めて皆さまで考えて頂ければと思います。

### なぜ「集落ぐるみ」？

個人で実施する対策にはどうしても限界があります。

#### ◎追いついてもサルは逃げない？

⇒いつも同じ人・少人数で追いついていませんか？

集落全体で協力して追いついて、ようやくサルは人間に対して恐怖をおぼえます。



#### ◎個人の対策 ≠ 集落の被害軽減

⇒自分でヤブ刈り・電気柵を張っても他の土地・畑に被害が出る・動物が出没している・・・。

みんなで力を合わせて対策を実施した方が効果的ですよ？



### まずはみんなで話してみませんか？

役場では以下のような研修会を実施しています！

ご要望があればいつでも集落に伺いますので、農林課までご連絡ください！

#### 《野生動物対策勉強会》

個人・集落でどんな対策をすればいいのか、野生動物の生態など、役場の専門職員と一緒に学んでみませんか？

まずは正しい知識を身につけて、正しい対策を実施しましょう！

#### 《集落環境診断》

みんなで集落内を歩いてみて、なぜ被害が起きるのか・どこを改善したらいいのかを全員で共有してみませんか？

一人では気付けない新しい発見がきっと見つかります！



研修会の要望、野生動物の被害・出没があればご連絡ください！

お問い合わせ先 農林課農林整備係 飯田 TEL 62-2116 FAX 62-5175